

令和7年度 教育課程特例校における特別な教育課程【実施状況報告】

箕面市立第四中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間(週4時間)の外国語科(英語)に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境づくりを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境づくりを行っています。

2.学校関係者からの意見（実施の成果及び課題など）

生徒は、英語の通常授業と英語コミュニケーションの授業を通して、トータル週5時間、毎日英語に触れる機会があり、特にALTと本物のやり取りを通して読む・聞く力が伸びているように感じます。英語の授業では主に知識を身に付け、英語コミュニケーションの授業で得た知識をアウトプットすることで、英語をコミュニケーションツールとして活用するサイクルができています。ALTの英語を聞く、ALTと会話するなどの経験を通して、英語により興味をもち、意欲高く学習できています。

3.今後に向けて（課題の改善のための取組など）

書く力・話す力など、自分の意見を英語で発信できる力をより養っていきたいです。ALTとの会話活動をより増やすことで、英語が伝わる成功体験を得られる場を増やしていきたいです。また、タブレットを用いて、デジタル教科書やAI英語学習教材等を活用し、より個別で最適な質の高い授業を目指します。